

変化を楽しむ。

青ベースの釉薬(ゆうやく)に描かれた白い手描きの模様は、同じものもあれば少し形を変えたものもあります。日々のうつろいを表現しています。対照的に、手描きの模様が集まった青いらせん状の形は、大きく変化する時の流れを表しています。

今年の長崎県展で中華人民共和国駐長崎総領事賞を受賞した作品です。



令和4年度 第67回 長崎県美術展覧会 工芸部門
中華人民共和国駐長崎総領事賞 『変化』

ここに注目!

新町長に聞く! 12人が一般質問で登壇

はさみ



No.160 令和4年12月号

議会だより

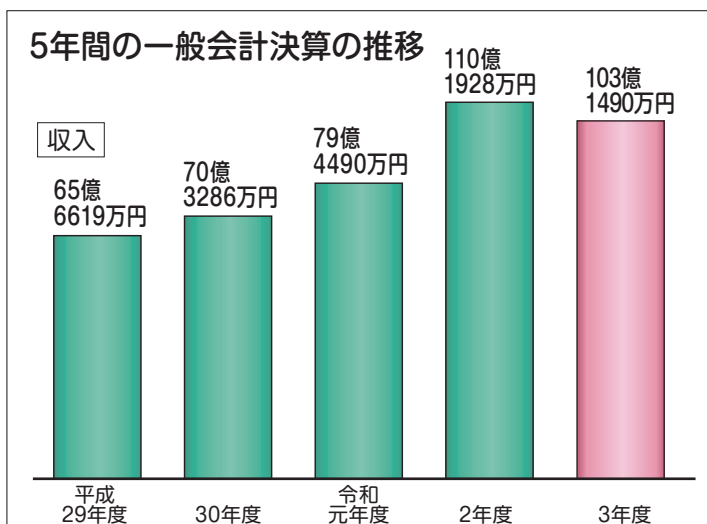
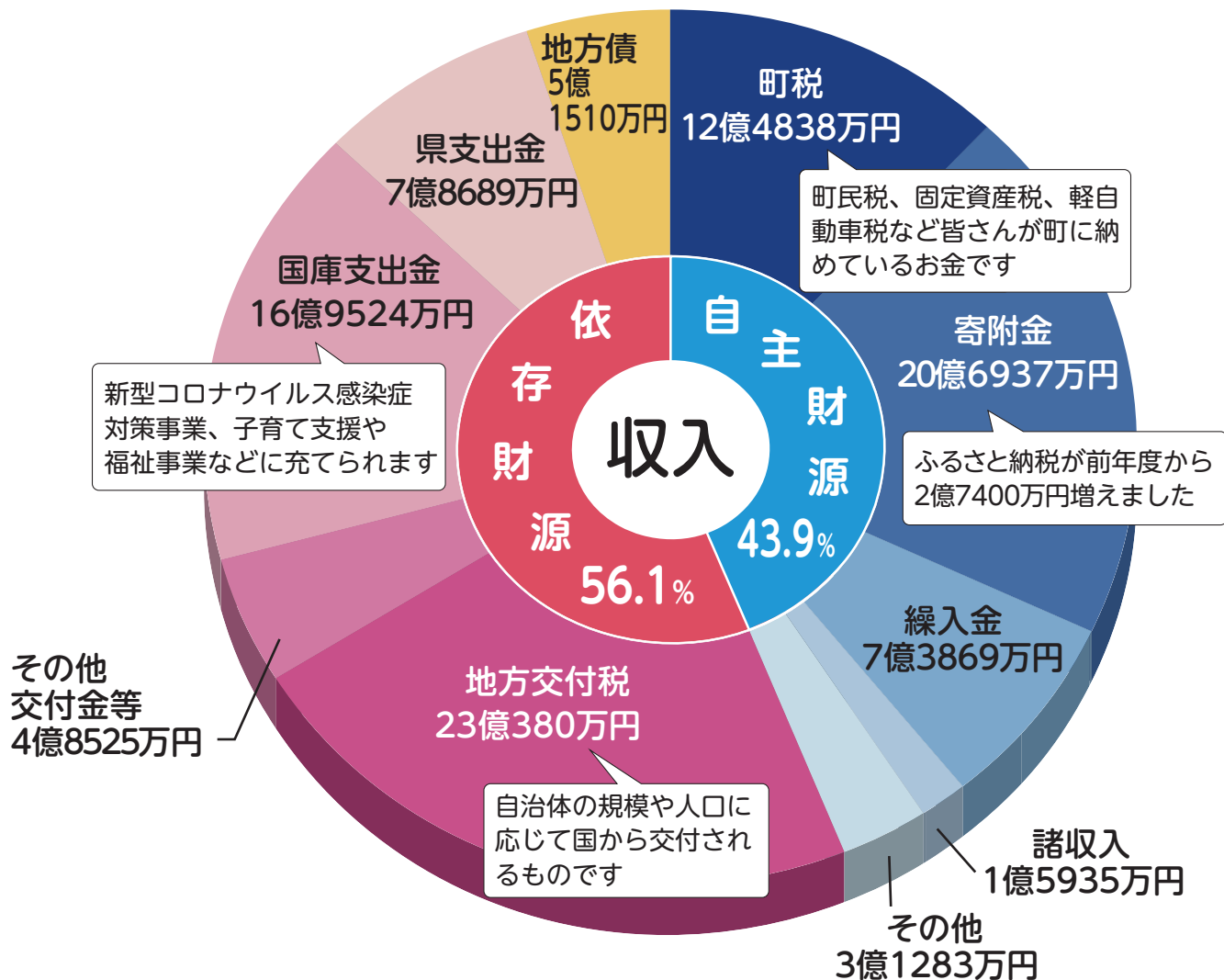
今月の
はさみの人

うらた れあ
浦田 麗愛さん
波佐見高校 美術・工芸科1年



一般会計の収支

103億1490万円 収入(財源) (6.4%減)



前年度比増収の主な内訳

項目	増収額
寄附金	2億8326万円
地方交付税	2億7997万円

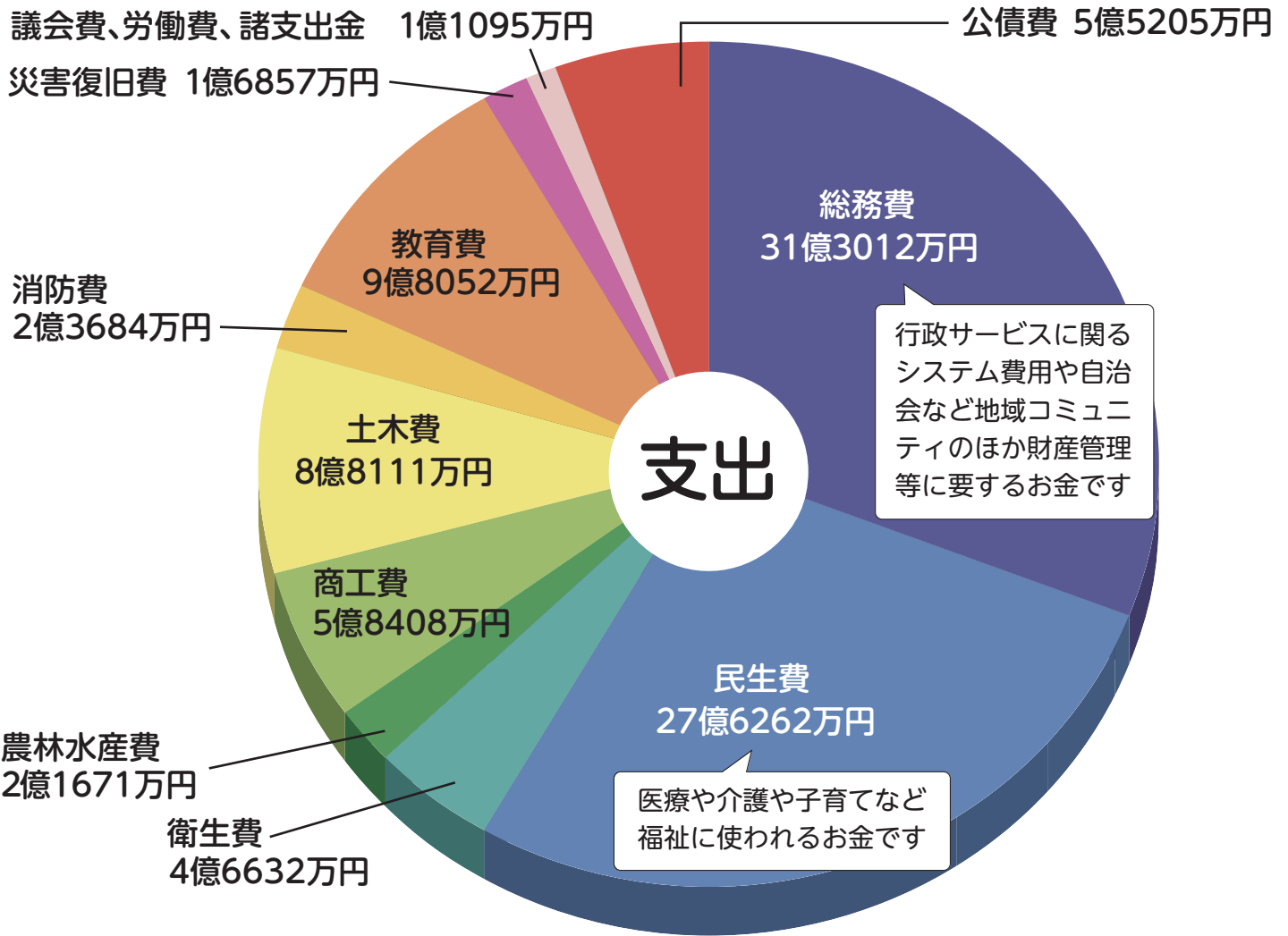
前年度比減収の主な内訳

項目	減収額
国庫支出金	12億427万円
町債	4億2296万円

令和3年度の一般会計収入は7億438万円の減、支出は7億6014万円の減となりました。審議の結果、令和3年度一般会計歳入歳出決算他6件については、全会一致で認定されました。

令和3年度決算

100億8989万円 支出(使い道) (7.0%減)



令和3年度に行われた主な事業

- ・中央小学校校舎改修事業(外壁)
- ・折敷瀬団地外壁改修事業
- ・波佐見高校支援事業
- ・高齢者タクシー利用助成事業
- ・新庁舎建設事業(実施設計・解体・造成など)
- ・プレミアム商品券事業



中央小学校校舎改修事業(外壁)

■基金及び地方債残高

項目	令和3年度末	前年度からの増減
基金	52億8437万円	6億7218万円増
地方債	63億5753万円	524万円減

地方債：自治体が建設事業等を行う際に、国の同意等を得て行う借入金



プレミアム商品券

決算特別委員会 委員長報告

委員長 尾上 和孝

今回、議会運営委員会において、予算特別委員会や決算特別委員会の在り方を協議し、これまでの全管理職出席型に問題認識の共有など利点はあるが、審議時間の長期化や年度の数値にこだわるあまり、事業自体の評価が難しいなどの課題もあった。

そこで今回、常任委員会における所管事務調査が活性化してきたことも踏まえ、先行事例を参考に、分科会制による決算審議を行うことにした。

分科会は、総務文教委員会、産業厚生委員会の常任委員会所管課の決算事項について、管理職等を説明員として調査を行った。

全管理職出席型の決算審査に比べて、執行部と議員側がそれぞれの拘束時間を減らすことができ、かつこれまでの常任委員会で得られた所見を活用した深い議論が行うことができた。

分科会の 意見

- ① 決算書の数字を間違わないように慎重に取り組むこと。
- ② 成果説明書^{※1}の説明や表記の仕方については、今後に活かされるようにすること。
- ③ 当初予算に対する執行率を明記すること。
- ④ 国及び県からの収入を、どこの管轄の収入かを括弧書すれば分かりやすい。
- ⑤ 諸事情はあれ、繰越明許費^{※2}が多い。もっと明確にすること。
- ⑥ 今回より成果説明書^{※1}の書式が変わった。成果説明書の選択の仕方はどのように決めているのか。良い事ばかりではなく、執行率が悪い点についても盛り込むべきである。
- ⑦ 地区からの環境整備の要望については、今後も誠意を持って対応すべきである。



※1 成果説明書：町長が決算書と併せて議会に提出しなければならない、事業の成果等が記された書類。
(正式には「主要な施策の成果の説明」という)

※2 繰越明許費：歳出予算のうち、年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、翌年度に繰り越して使用する経費。

所見

総括的な所見としては、本町の実質公債比率は改善がみられるが、依然として依存財源の割合は大きく、財源基盤の安定化には乏しい財政状況となっている。

歳入では「ふるさとづくり応援寄附金」の大幅増があるものの、町税等の減や国・県支出金の増で全体を占める自主財源の割合が下降となり、今後、ますます厳しい財政運営が強いられることが予想される。

また、歳出では社会保障関係費の増加など厳しい状況が見込まれることから、引き続き財源確保に最大限傾注し地方交付税等を含め必要な一般財源総額の確保と充実を望むものである。

第一分科会審査報告

主査：福田 勝也、副主査：田添 有喜

第一分科会に付託された総務文教委員会所管課の決算及び主要な施策の成果について審査を行った。

日程1 9月29日（木）会計課、税務課、企画財政課、庁舎建設推進室

日程2 10月 3日（月）総務課、教育委員会・給食センター、住民福祉課、議会事務局

審査の 所見

- ・各課において活発な質疑応答があった。
- ・各課とも適正に執行されていたが一部、繰越明許費や不用額が見受けられた。「主要な施策の成果の説明」には、決算後の予算編成に向けて、今後の課題や問題点も記載するなど、改善が必要と考える。
- ・職員研修や人員確保など「行政サービス」に支障がないよう環境整備に努めてもらいたい。
- ・縦割り行政とならないように事業が関連する各課との連携、把握が必要と考える。

第二分科会審査報告

主査：城後 光、副主査：岡村 達馬

第二分科会に付託された産業厚生委員会所管課の決算及び主要な施策の成果について審査を行った。

日程1 9月30日（金）建設課、長寿支援課、子ども・健康保険課、住民福祉課

日程2 10月 4日（火）水道課、商工観光課、農林課

日程3 10月 7日（金）現地調査（川内郷農地、豪雨災害復旧工事7箇所、鬼木郷民泊拠点施設）

審査の 所見

- ・各課の事業について、活発な質疑応答が行われた。
- ・限られた予算及び人員の中で、多様な事業が精力的に行われている点には敬意を表す。ただし、長期に渡り実施されている事業については見直しが必要な点もあり、今後の検討が必要な部分も考えられる。
- ・長期の事業期間を要する大型事業については、関係者のみならず町民全体に計画を示しながら事業を進めてもらいたい。
- ・通常業務に加え、災害対応など突発的の事業に要する業務量も複雑かつ長期化の傾向が見られる。
- ・職員負荷軽減のためにも、業務改善や外部委託を積極的に行ってほしい。

現地調査 概要

鬼木郷の福田清人先生生家を改修し、民泊拠点としての整備が行われている。大学生などの集団合宿受け入れを想定し、外観は大きく変更せず、機能的な内装を整備された。

概ね整備が進んでいるものの、冬期の断熱対策など、追加整備の必要性を指摘した。



川内郷ほたるの会館周辺の農地（法面）にてセンチピードグラスの吹き付け実証が行われている。これは、特許を有する既存の植生を芝生化し、草刈の手間を軽減させる手法である。

非常に有効と考えられ、営農者が減っている急斜地地域での早期導入を求めたい。

波佐見町議会新体制紹介

常任委員会と議会運営委員会は任期が2年ということで下記のとおり決定しました。議長(写真⑪)及び副議長(写真⑫)の任期は4年で変更はありません。

この新体制で11月2日より心新たに活動を始めました。



写真	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
氏名	岡村 達馬 おかむら たつま	岡村 真由美 おかむら まゆみ	横山 聖代 よこやま せいだい	前田 博司 まえだ ひろし	濱本 秋人 はまもと あきと	福田 勝也 ふくだ かつや	澤田 昭則 さわだ あきのり	北村 清美 きたむら きよみ	三石 孝 みつし たかし	城後 光 じょうご ひかる	百武 辰美 ひやくたけ たつみ	尾上 和孝 おのうえ かずたか	脇坂 正孝 わきざか まさたか	田添 有喜 たぞえ ゆっき

総務文教委員会



委員長 脇坂正孝
副委員長 田添有喜
委員 濱本秋人、岡村真由美、福田勝也
 三石 孝、百武辰美

総務課、企画財政課、税務課、住民福祉課(戸籍係)会計課、庁舎建設推進室、選挙管理委員会、監査委員、教育委員会の所管に関する事項等を調査します。

産業厚生委員会



委員長 北村清美
副委員長 岡村達馬
委員 前田博司、澤田昭則、城後 光
 横山聖代、尾上和孝

住民福祉課(戸籍係を除く)、子ども・健康保険課、長寿支援課、農林課、商工観光課、建設課、水道課、農業委員会の所管に関する事項等を調査します。

議会広報 調査特別委員会



委員長 田添有喜
副委員長 澤田昭則
委員 前田博司、濱本秋人
 岡村真由美、岡村達馬

年4回の定例会終了後、掲載原稿の校正と編集を行い、「議会だより」の発行等を行います。

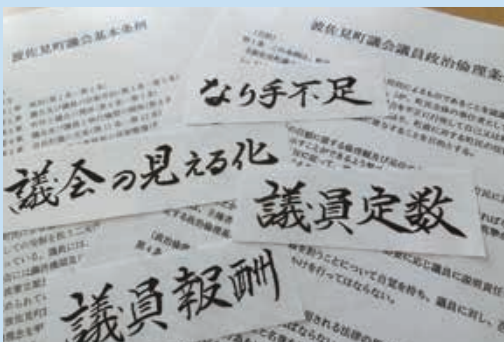
議会運営委員会



委員長 福田勝也
副委員長 岡村達馬
委員 田添有喜、北村清美
 脇坂正孝、尾上和孝

地方自治法や議会の運営基準に基づき円滑な議会運営を行うため協議し、意見の調整を図ります。

議会改革 調査特別委員会



委員長 尾上和孝
副委員長 田添有喜
委員 議長を除く11名の議員

国・県においても改革が進む中、本町の議会における様々な課題解決を図るため、調査研究を行い、議会改革に努めています。

新庁舎建設等 調査特別委員会



委員長 北村清美
副委員長 三石 孝
委員 澤田昭則、岡村真由美
 岡村達馬、脇坂正孝、尾上和孝

令和5年8月の完成を予定している新庁舎建設の、適正かつ計画的な管理運営について調査研究を行います。

波佐見町公の施設に係る指定管理者の 指定手続き等に関する条例


 可決

本事件については、総務文教委員会に付託され、令和4年10月11日に審査を行った。
今後、新庁舎完成後の総合文化会館や講堂の活用をはじめ、町の公の施設に指定管理者制度を導入する計画があるため、手続き等についての基本的な条項を定める必要がある。以上のことから、本委員会では全会一致で可決すべきものと決定し、10月19日の本会議において、賛成多数で可決された。

反対討論

城後 光 議員

本町においては指定管理制度に合った公的施設は限られており、現状行われている事業委託などにて対応が可能と考える。

また、指定管理により受託者が年限を区切られ事業を行うことは、公的サービスを行うにあたり、地元とのトラブルを招くことも懸念される。

よって、現状では指定管理に関する手続きを定める条例を制定する必要はないと考え反対する。

賛成討論

三石 孝 議員

従来の公共施設の管理運営は、委託を含め行政が直接行っている。しかし、職員の人員不足により通常の業務にも支障が生じており、新しい管理運営の方式が必要とされてきた。指定管理はこの問題の解消につながる方法である。

また、この方式による住民サービスの低下が懸念されているが、指定業者の適格審査や指定後の取消し規定もあり、十分対応できるものと判断し、この条例に賛成する。

使用料及び手数料条例の一部を改正する条例


 可決

陶芸の館伝習館の使用料について改正。一泊につき2,000円を徴収しているが、利用者のニーズの変化に合わせ時勢に沿った料金体系を構築することを目的とする。
今回の改正で一泊4,000円等の変更となった。

質疑

- Q.** ビジネスホテル並みの料金設定はいかなものか。そもそも陶芸体験希望者のために安く設定されていたのではないか。
- A.** 従来の目的では収益が上がらないため、広く一般の方にも利用してもらえよう施設を改修したことに伴い、使用料を見直した。
- Q.** 中尾郷自治会ではなく、個人が管理されていると聞かす。
- A.** 若い人の考えを取り入れているため、若いスタッフとその指導者を中心に管理してもらっている。代表者は自治会長となっている。



陶芸の館伝習館と管理人

12人が登壇

9月
定例会

一般質問

ページ	議員名・質問項目
10 ・ 11	城後 光 ※・町長の所信表明 (観光交流人口拡大など) ・自治体DXの取組状況 ※・野良猫を地域猫としていく取組
	岡村 達馬 ※・前川新町長の町づくり構想
	田添 有喜 ※・県道及び町道の整備 ※・河川整備 ※・教育行政
12 ・ 13	横山 聖代 ※・町長の所信表明 (子育て支援・高齢者支援)
	前田 博司 ※・町長の所信表明 (学校給食費無償化など) ※・ふるさとづくり応援寄附金
	北村 清美 ・町長の所信表明 (「人」への支援など) ※・公共下水道地域の縮小による合併浄化槽の推進

ページ	議員名・質問項目
14 ・ 15	福田 勝也 ※・町長の所信表明(子育て支援・地場産業振興など) ※・副町長の選任
	岡村真由美 ※・町民霊園の無縁墓への対応策 ※・波佐見高校の存続
	澤田 昭則 ※・町長の所信表明(子育て支援・観光誘客など) ※・物価高騰対策支援
16 ・ 17	脇坂 正孝 ※・町長の所信表明等 (子育て支援)
	濱本 秋人 ※・安全な町づくり ※・学校教育
	三石 孝 ※・町長の所信表明 (農業振興など)

※は掲載項目です。
QRコードを読み取ると
各議員の動画が見られます。



賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

	議席No.	議員名													審議の結果	
		1 前田博司	2 濱本秋人	3 澤田昭則	4 岡村真由美	5 田添有喜	6 岡村達馬	7 福田勝也	8 城後光	9 横山聖代	10 三石孝	11 北村清美	12 脇坂正孝	13 尾上和孝		
9月定例会	補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	・波佐見町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決
		・波佐見町情報通信技術を活用した行政手続きの推進に関する条例 ・波佐見町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	・町内小中学校トイレ改修工事(1工区)請負契約の締結 ・町内小中学校トイレ改修工事(2工区)請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	決算	・令和3年度一般会計歳入歳出決算認定 ・令和3年度特別会計歳入歳出決算認定 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、公共下水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		・令和3年度事業会計剰余金の処分及び決算の認定 上水道、工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
人事	・教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

また、8月臨時会において上程された次の3議案は、全会一致で可決となっています。

- ・令和4年度一般会計補正予算(第2号)
- ・令和3年災 大鬼木他4地区災害復旧工事請負契約の締結
- ・令和3年災 開田他2地区災害復旧工事請負契約の締結



岡村 達馬 議員



議員 本町が持つ農業振興地域と都市計画区域の二大土地利用計画をどのように捉え、活かして行くのか。

町長 町長は新しいリーダーとして具体的な計画や将来の構想を示された。

議員 新しい世代の子育て、教育、福祉の町づくりにへの推進は、すべての子どもたちの健やかな子育てを

議員 公共施設、インフラの整った町は人口が増えている。町の具体的な行動と計画は。



あちこち陶器まつり

行政と一緒に頑張りたい。

新幹線をどう活かすか



城後 光 議員



町長 沿線自治体と連携を進める

町長 新幹線開業は、多くの観光誘客が見込めるなど連携は重要である。武雄市などからオファーがある。お互いの観光協会を含めて何ができるか、できるにはどうするかを考え、今後具体的に詰めていく。

議員 野良猫を増やさないためにも、猫の不妊去勢手術を行う必要がある。町でも支援を行う考えはないか。



議員 沿線自治体との連携についての考えは。

議員 野良猫が増やさないために、猫の不妊去勢手術を行う必要がある。町でも支援を行う考えはないか。

議員 町として今後の対応方針は。

つばやき
町長の考えはしっかりしたものである。
子育て世代支援を充実させてほしい。

町長 地域猫活動への支援と野良猫の増加を抑える手立てを行い、地域における猫が住民と共存できる環境づくりを進めていきたい。



田添 有喜 議員



二級河川の整備計画は

町長

県の整備計画はない



歩道の整備箇所

町長 現在、用地買収や補償の交渉を行っている。実質的な工事は、令和5年度から着手予定。

議員 注目を集める本町の更なる発展のためには、道路の整備は欠かすことができない課題である。
町長 波佐見郵便局前から宿郷濁淵間の歩道整備工事は。

町長 県に整備計画はないとのこと。町は、地元からの要望を踏まえ写真や資料を取りまとめ、県へ

議員 二級河川の整備計画はどのようになっているか。また町として県への要望は。

町長 河川の整備は急務であり、住民の生命や財産を守るために早急に行う必要がある。

町長 特に明確な整備計画はない。基本的には自治会の要望をベースに、必要に応じて行っている。

議員 歩道整備はどのような計画で実施されているか。

教育長 波佐見町地域部活動推進検討委員会（仮称）を立ち上げ、組織づくりを始めて行く。

議員 中学校の「部活動の地域移行」への取組みは。

町長 教師の働き方改革が進む中、教育界には多くの課題がある。

町長 河川において通水断面の確保もなされた。今後必要な箇所については、引き続き要望する。

議員 二級河川村木川の浚渫及び樹木伐採の工事を終えて感じることは。

要望書を提出している。

新しい町づくりの構想は

町長

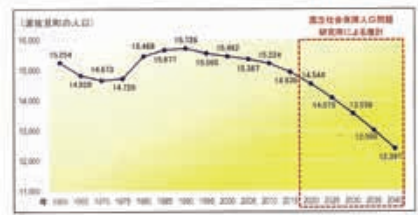
公約の町づくりに努める

町長

人口減少の波は避けられない。そのような

議員 少子高齢人口減少時代の町づくりの構想と計画は。

町長 それぞれの計画が持つ目的や制限を考慮し、特性を活かした町づくりに努めたい。



波佐見町の人口動態

1990年(H2年)は15,728人。
2022年(R4年)現在は14,381人。
2040年(R22年)は12,397人となる見込み。

町長 観光に焼き物は欠かせないが、南地区には違う客層もある。民間と

議員 「訪れたくなる町」への取組みは。

町長 公共施設は長寿命化を図り、道路などのインフラ整備は重要度を考慮したい。

議員も実態把握に努めている。

なぜ、自治会の要望が優先されるのか。

議員の声は地域の声でもある。



整備された村木川

新町長にはこれまでの町政の流れ

をくみ、更なる発展をさせるとの意気込みを聞いた。

ぜひ勢いを止めない施策を期待したい。





前田 博司 議員



町長 料化とし、その後完全無償

議員 給食費の無償化は時
限的なものか。
まず半額としている
第2子の給食費を無

町長は所信表明に重点施
策として「子育て支援」な
どを挙げている。

町長 は否めないが、システムに
係る経費と住民サービスの

議員 自治体DXは進める
べきと思うが、固定
費の増大とならないのか。
維持管理費などの固

互利用の研究を続ける。

議員 寄附金の活用は寄付
者の意向に沿う形で

好調なふるさとづくり応
援寄附金については、有意
義な活用が求められる。

向上とのバランスを取りな
がら確実に進めたい。



ふるさと納税カタログ

小学生以上の 現物支給は

町長

5年度からできる
よう進めている



横山 聖代 議員

町長 町を支えていくのは
全世代がそれぞれの
分野において担うものであ
るが、その中心となるのは、
町に変化や活力をもたらす
子育て世代であると考える。

議員 どのような想いで
『子育て世代に優し
いまちづくり』を重点施策
の最初に挙げたのか。

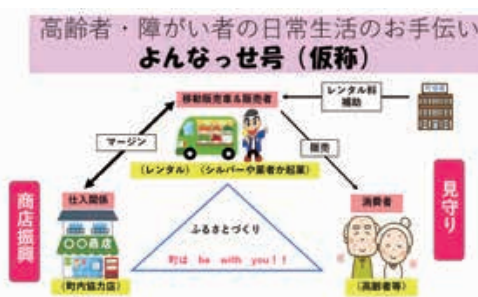
町長は人口減少社会の到
来により10年20年先の一手
を打ち、町づくりの根幹と
なる「人」への支援を行う
と述べた。

町長 様々な法律が絡み合
っているため、抜本
的な解決策を提供できない
のが現状である。

議員 高校生の通学の不便
さが、本町の子育て
支援の課題と考えるが。

町長 令和5年度から18歳
歳まで現物支給にす
るよう進めている。

議員 子ども福祉医療費は
小学生以上も現物支
給にすべきと要望してい
たが、その後の進捗は。



現在の高齢者支援で不足
しているのは『買い物弱者
支援』と言われている。
図のような本町独自
の支援を考えてはど
うか。

これからの前川
町政、思い切った
施策に期待しています。
でも私も、色々と意見させ
ていただきます
ので、ご了知お
きを。



つぶ
やき

町長 移動販売も買物宅配
も大きな課題と考
えている。しかし、町民一人
一人のニーズや世帯状況が
違うため、全てに対応可能
な支援策は難しい。今後の
検討課題として内容を精査
したい。



北村 清美 議員



合併浄化槽の対策は

町長

個別に確認し、普及を図る

議員

汲み取り世帯を対象に実施したアンケート

トの「合併処理浄化槽や設置補助金」・「設置の検討」など集計結果と対策は。

町長

発送は817世帯で回答数は377件。

回答率46%。「合併処理浄化槽」は知っているが「補助制度」は知らない世帯26%、両方知らない世帯27%。

設置の検討は「前向きな

タクシー券のバス利用は

町長

相互利用の道を探る

議員

高齢者タクシー利用券を路線バスに利用

できないか。

同様の要望は聞いている。現状では対応が難しいが路線バスとの相

化を目指し、制度は恒常的なものとしていきたい。



町内を走る路線バス

回答22%、「興味はあるが難しい」32%、「考えてない」34%。
理由は「不便を感じない」24%、「設置にお金をかけるつもりがない」15%、「高齢者のみの世帯のため」36%、「経済的な理由」44%、「敷地に設置場所がない」15%。

対策は今年4月に補助金を増額したので負担の軽減を説明する。そして、地区的な隔たりがあり、汚水処理や住宅の立地状況を個別に確認し、合併処理浄化槽への転換を促す必要性が重要。

町長

寄付者の方の意向と活用の割合に若干の違いがあるが、国や県の補助金を使えるものを優先し町の負担を少なくする方法をとっている。そのことにより目的との差が生じることもある。

行うべきではないか。

議員

一般会計から「巨額の繰入金」が常態化し、償還に充てられており、更には毎年起債による「多額の支払利息」も生じているが、抜本的な解決策は。

は。

町長

今後の「地方債償還」及び「支払利息」の推移は現時点では令和9年度がピークとなり、その後は減少する見込み。「地方債」は下水道事業を継続する財源として必要不可欠であるため、抜本的な解決は現状では厳しい。

町長の「波佐見町の将来」を見据えた答弁。

急がず、慌てず「一步一步」進まれんことを。



つぶやき



汲み取りの様子

今後、自治体DXやIT化で維持管理費は増える一途。

広域化や広域連携も経費削減策として有効と思う。さらなる研究を！



つぶやき



岡村真由美 議員



全国各地の霊園で問題化している無縁墓が町民霊園にもできた。現行の条例では増加の歯止めにならない。

議員

公告を出した無縁墓に要する金額(支出)はいくらになるか。

支出額	備考
18,000	令和3年度まで(2,000円×9年分)
18,008	官報に掲載する
3,000	3壺の遺骨を1壺に収める
?	遺骨をお寺等に預ける
200,000	墓標を処分する(業者見積り)
?	令和4年度から(2,000円×?年分)

佐賀県は県外生徒の入学上限を廃止した。さらに有田工業高校のデザイン科・セラミック科は佐賀県と有田町の支援を受け「地域みらい留学」に参画している。本町の波佐見高校支援策の効果が懸念される。

町長

寮が完備されていないか。

有工でも参画一年目は入学者の確保に至らなかった。なぜだと思うか。

副町長の人選は

町長

様々な選択肢の中で考える



福田 勝也 議員

町長 年間予算規模は約5800万円となる。一般財源で賄うのは現状では厳しい。財政状況を見ながら導入すべきと考える。

議員 農業及び窯業従事者の担い手不足や後継者問題の今後の対策は。関係団体とも協議を進めているが、業界

町長 学校給食費を完全無償化とした際、その予算規模と財源は。

議員 継承、変革、進化」を基本方針に掲げ、所信を述べられた。

町長 観光客に周遊していただく仕組みづくりやこのエリアのさらなる魅力向上を目指していきたい。

議員 スポーツ振興における競技力向上の対策は。

町長 競技人口の拡大と指導者の置かれている現状を改善し、指導者の確

議員 「西の原」・「陶芸の館」一帯をハブとした町内観光周遊ルートの計画は。

町長 観光客に周遊していただく仕組みづくりやこのエリアのさらなる魅力向上を目指していきたい。

町長 町長が就任されたが、まだ副町長の選任がない。

議員 副町長の選任の時期は。

町長 年末か年度末までの期間になるべく早く

保を進めていく必要があると考える。



観光スポット「陶芸の館」

副町長不在のままでは、日常業務に支障がでる。早い時期に町長が最も信頼でき、職員からも信頼される人選を期待する。

つぶやき



町長 波佐見町役場の勤務経験があることが望ましい。様々な選択肢の中で人選したい。

議員 どのような人選を考えているか。



澤田 昭則 議員

新幹線開業で 誘客看板の設置は



町長

今年度
リニューアルする



観光誘客看板

町長 永尾郷県境の県道1号線沿いにある看板のリニューアルを今年度行う。

議員

誘客PR看板の設置は。

新幹線開業に伴い、本町への佐賀県方面からの観光誘客が期待できる。



プレミアム商品券

町長

今年度で終了する。

議員

物価高対策を考慮し今後、継続支援事業としては。

「プレミアム商品券事業」は、コロナ経済対策で町民や事業者を支援した。

自治会は、地域課題の解決や活性化に積極的に取り組んでいる。

町長 町医師会に対し「小児科の誘致」について町としての方針を説明し協力をお願いした。今後、医師会の意見を踏まえ、補助制度についても検討する。

議員

誘致に向けての取組みや新規開業に対する補助制度は。

本町には小児科の医療機関がない。

つばやき
コロナ経済対策の「プレミアム商品券事業」は消費拡大が目的だった。今後は物価高対策を考え継続支援として取り組んでほしい。



町長

自治会との情報交換などを行い研究し対応する。

議員

支援を目的として自治会振興交付金の増額は。

「改葬する」に条例の 改正を

町長

「改葬することが
できる」のままで



官報公告を伝える立て札

町長

表のとおりである。

町長

速やかに慎重に検討する。

議員

具体的な改葬場所を決めないまま、無縁墓の支出が増えていくのをいつまで放置するのか。

徴収未納額
公告費用
再火葬費用
改葬処分経費
墓標撤去費
徴収未納額

町長

同様の取り扱いができないか、県に要望することはできる。

議員

有工の「地域みらい留学」についてどう思うか。

つばやき
佐賀県と有田町は下宿先を多数確保し全国から生徒を本気で集めようとしている。寮も下宿もない波高美工科に生徒は来るのだろうか。





濱本 秋人 議員



議員 本町では、大きな事件や事故は起こってはいませんが、全国では子どもを巻き込んだ事件や事故が後を絶たない。

教育長 本町における防犯のあり方はどうか。

子どもたちに関する大きな事件や事故は発生していない。登下校時の



防犯カメラ

があることは認める。設置については、先行団体の事例等を調査し研究する。

議員 学力不振、無気力、何となくなど様々なものがある。対策としては何が必要か。

町長 学校では、現状把握のため、心配事相談箱の設置や定期的なアンケートを実施している。個別の対応を丁寧な根気強く行



練習に励む子どもたち

「子育てしやすいまち波佐見」は

町長

研究検討を進めるべき課題である



脇坂 正孝 議員

町長 町長は「子育てに優しいまちづくり」に取り組むと所信表明された。

議員 町内保育園等の保育士は足りているか。

町長 在園児に対する定員は確保している。しかし、新たな入園希望者に対応するための保育士確保ができず、現在、13人の児童が待機中である。

議員 「保育の質を図る」とはどのようなことか。

町長 保育士の負担軽減が余裕を持った保育になり、質の向上が図られるものと考えている。

具体的には、臨床心理士による園支援訪問、障がい児保育に対する補助金や保育充実人員配置支援事業がある。

議員 保育士支援制度とは。

町長 新規採用保育士の家賃補助制度（月額3万円）や潜在保育士の就労



保育の様子

支援支度金（10万円）である。町内の園に就職した方の奨学資金返済援助も実施している。

議員 放課後児童クラブ「おいでおいでルーム」は町道沿いで、広場や駐車場がない。また、古い民間住宅で面積やトイレ等の間取りに制限がある。外遊びは近くの広場を利用するため、町道の横断など危険性が高い。これらのことから公設民営が必要と考えるがどうか。

町長 限られた予算の中で早急な実現は難しい。

議員 同ルームの児童は年間250日以上通い、小学校の出席日数の約200日を上回る。施設の老朽化と合わせ早急な整備が必要では。

町長 今の状況では考えていない。

つばやき 町長は「子育て世代に優しいまちづくり」を所信の第一に表明された。重みある所信（初心）の実行・実現に全力投球してほしい。





三石 孝 議員

今は農業者を
育てつくる時

町長

十分に対応すべき
課題である



主要交差点に
防犯カメラ設置を

町長

先行団体の事例
を調査研究する

町長 2015年から2020年で、農家は96戸・農業者は326人減少。年齢も70歳以上が32%まで上昇している。

議員 農業者の推移は。
町長 認定農業者と農事組合法人と考えている。

議員 人口減少の波は、各種各事業に担い手不足を生じさせている。本町の基幹産業である農業と畜業への影響は深刻である。
町長 農業の担い手は誰か。

町長 犯罪の抑止と犯罪者の特定に大きな効果
議員 最近では観光客の車両も増えている。主要交差点に防犯カメラを設置できないか。

町長 農家をつくる時代になってきている。しかし、農業に解ける。しかし、農業に

議員 国や県、周りの市町と一緒によればいい。取組みとしては遅いが、何かしないと現状突破は難しいが。

町長 農家をつくるトレーニングファームは他県にあるが、町単独ではできない。
議員 新規農業参入者を待っても一向に増えない。これからは、農家を育て、つくる時代ではないか。

議員 不登校の原因は。考えられるものに友人や先生との関係、
教育長 現代は、ゲーム等でのひとりで遊びが増え、友達同士の付き合いが希薄となり、不登校の一因になっていると聞く。

町長 現状では、農家は減る一方、耕作放棄地は増える一方である。農家づくりは、十分に対応すべき課題である。

議員 農業の魅力づくりを行うのがトレーニングファームである。今までの魅力づくりに成功したからこそ、本町に多くの人が集まって来ていると思うが。

議員 魅力がないと状況は変わらない。
町長 人と関わることを苦にするケースもあり、一概には採用しづらい。

議員 対策の一つにスポーツを取り入れたらどうか。
町長 対策の一つにスポーツを取り入れたらどうか。

担い手問題も一歩踏み出せばいいこと。
町長選で聞いた「できない理由よりできる方法を考える」この言葉の本気度を問いたい。



認定農業者による稲刈り

スポーツで汗ばかいてみれば、気持ちの良かとぼってんね。何でもよかけん、試してみればよか。大事かとは「今」ばい。



傍聴者の声

9月定例会には延べ**39人**の傍聴者がありました。
いただいたご意見を紹介します。

- ①傍聴席に入ると空気が一変する。行政側と議員席が対面し、そこは緊張感にあふれる会場だった。双方が「町をもっとよくしたいと願う」白熱した議論から町政が高まっていくことを体験した。
- ②傍聴席はいつもがらで少し寂しいが、世の中の政治的無関心を考えればそんなものでしょうか。自治会の役員さんは、特に傍聴して関心を高めていただきたい。(74歳 男性)

- ①新町長が初議会で所信表明をされ、これからの町政についてどう答弁されるか期待したが、緊張されていたのか少し元気がなかった。
- ②テレビ放映のお陰で議会活動が身近に感じられて、町政にも関心が持てるようになった。
- ③一般質問において、1項目ずつ質問、答弁、質疑応答ができないのでしょうか。(67歳 男性)

- ①時間の都合で2名の質疑応答だけを拝聴しましたが、2名ともよく観察したり、いろんな統計を取ったりされていることに感心しました。
- ②私の所は生放送が観られないので、はじめて傍聴しに来ました。(66歳 女性)

- ①質問内容が重複するものがあったので、まとめて質問した方がいいと思う。
- ②生放送により、議会の様子がリアルタイムで観られるので、町や議員の考えが分かりやすくてとてもよい。
- ③答弁は、「思います」ではなく、「いたします」と言えるように事前調査に力を入れてほしい。
- ④一般質問の日時や議員の順番・内容等が事前に分かるのもっと関心を持ってもらえと思う。(63歳 女性)

町長と二人の新人議員は初めての議会でした。新人議員の発言に対して答弁者の丁寧な対応を感じ、ベテラン議員の時は白熱した時間帯もあり真剣な対応に身を乗り出しました。(68歳 男性)

- ①質問や答弁の経緯を傍聴することで、波佐見町の発展のために双方が様々な勉強とご苦労をなされていることが伝わりました。
- ②生放送の時間帯は仕事で、たまたま夜にチャンネルを変えてみたら一般質問が放映されていました。できたら再放送があることを町内放送で流してもらいたい。(女性)



今後、議会だよりでは町民皆様の声を掲載していく予定です。



新議員紹介



前田 博司 議員

「波佐見に住んで良かった」と思える町を目指すのはもとより、進学や就職で町を離れても帰ってきたくなくなるような、今以上に魅力ある町づくりのために頑張ります。



濱本 秋人 議員

一般質問は大変緊張しました。議場の雰囲気や委員会等の空気にはいくらか慣れましたが、内容はこれからしっかり勉強していきます。

発行責任者
議長 百武辰美

委員長	田 添 有 喜
副委員長	澤 田 昭 則
委員	岡 村 達 馬
	岡 村 真 由 美
	濱 本 秋 人
	前 田 博 司

議会広報調査特別委員会

(澤田 昭則)

今後、町政に対して町民皆様の様々な声があると思います。町民と行政が一丸となってこの厳しい社会情勢を乗り越えたいものです。

「はさみ議会だより」は年4回発行し、今回で160号になりました。情報の伝達技術も様変わりし、現在は議会を直接傍聴しなくても生中継や動画配信で観る、聴くなど利便性がかなり向上されました。

また、自治体DXは、進化した技術を浸透させ、生活をより良いものに革新してくれると期待しています。

編集後記

